

人材開発室

J A Y C E E 拡大会議 運動方針（案）

副理事長 神代 晃嗣

人材開発室担当常任理事 伊藤 龍平

J A Y C E E 拡大会議議長 行方 匡胤

札幌青年会議所は64年もの間、地域に必要とされる運動を数多く展開してきました。その歩みは、まさに組織としての力と成長の歴史といえます。その歴史を今後も力強く次代へ継承していくには、無限の可能性をもつ青年たちが一人でも多く集い、自らの行動力で未来を描き換える人材を増やすことが必要であります。愛する札幌のため積極的に行動できる同志を増やすためにも、会員拡大はメンバー一人ひとりに与えられた使命なのです。

まずは、一人でも多く積極的に行動できる青年たちを純増させるために、メンバーの会員拡大に対する意識を調査・分析し、現状に則した戦略をたて、一人ひとりが自覚と気概をもって能動的に会員拡大運動に取り組めるように、当事者意識を喚起いたします。そして、J A Y C E E としての価値と可能性を理解していただくために、J C が目指している姿や事業の在り方を体感していただき、仮入会者の資質向上につながる研修を実施いたします。また、新入会員予定者に、これから始まる活動への期待感と、J C の魅力を感じて一步を踏み出していただくために、札幌青年会議所で共に活動する仲間との出会いや、入会することの喜びを感じられる場を創出いたします。さらに、今後の会員拡大運動を力強く展開するために、これまでの好事例や、他 L O M での成功事例などを調査・研究し、さらなる会員拡大のより効果的な手法を開発いたします。そして、札幌青年会議所がこれまで以上に、力強い組織として発展し続けていくために、多くの候補者に対し、情熱をもって J C の魅力、価値や可能性を伝えていくことで、さらなる会員拡大を行ってまいります。

志を同じくする仲間たちが、高い理念のもとで、共に向上心をもち数多く集うことで、組織はより力強く、魅力的な J C 運動を可能にします。自らの行動力でいまを描き換えることのできる青年たちが集い果敢に挑戦し続けることで、勇猛な心漲る人材を育成します。

<職務分掌>

1. 会員拡大意識の調査・研究・発信
2. J A Y C E E を育成する研修の実施
3. 理想とする J A Y C E E の調査・研究・発信
4. 会員拡大の検証と手法開発
5. 2016年度新入会員の募集

(一社) 札幌青年会議所 2015年度

年間事業計画 (案)

副理事長確認日 2014年11月13日

常任理事確認日 2014年11月13日

人材開発室 JAYCEE拡大会議

事業名	事業計画内容
<input type="checkbox"/> 二月「JAYCEE拡大」例会の企画・運営	<input type="checkbox"/> メンバー一人ひとりが積極的に会員拡大運動に取り組める例会を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 仮入会者研修の企画・運営	<input type="checkbox"/> 仮入会者の資質向上につながる研修を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 十月「新入会員歓迎」例会の企画・運営	<input type="checkbox"/> 新入会員予定者が共に活動をする仲間との出会いや、入会することの喜びを感じ、入会後の活動に期待が膨らむ例会を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 会員拡大の検証と手法開発	<input type="checkbox"/> 札幌青年会議所の会員拡大の研究を行い、これからの会員拡大のより効果的な手法を開発する。
<input type="checkbox"/> 2016年度新入会員の募集	<input type="checkbox"/> メンバー一人ひとりが、札幌青年会議所で活動する人の魅力、JCの魅力を熱く語り、入会候補者に対し伝えることで、さらなる会員拡大を図る。
<input type="checkbox"/> 諸事業・諸大会への参画	<input type="checkbox"/> 貴重な経験を得られる機会である諸事業や諸大会にメンバーが一人でも多く参加できるように、議長・副議長が先頭に立って積極的に参画する。

(一社) 札幌青年会議所 2015年度
年間事業フレーム (案)

副理事長確認日 2014年11月13日

常任理事確認日 2014年11月13日

人材開発室 J A Y C E E 拡大会議

[illegible]

人材開発室

グローバルリーダー育成委員会 運動方針（案）

副理事長 神代 晃嗣

人材開発室担当常任理事 伊藤 龍平

グローバルリーダー育成委員会委員長 星野 幹宏

国内における経済状況が回復基調にある中、我々のまち札幌では景気動向指数がマイナスで推移する弱含みな見通しの産業が散見されます。これは公共投資や原料素材などの一般消費から離れた産業に強く依存する経済構造が、環境変化の影響を受けやすいことにも起因します。グローバル化の進展による地域間競争激化に備え、世界的な視点からの思考で、地域特性を活かした新たな付加価値を創造するグローバルリーダーの育成が必要です。

まずは、未来を描き換え豊かなサッポロを創造するために、地域の課題を解決する人材に求められる資質を重要度や緊急度などから優先順位をつけ、知識とスキルと行動力を併せもつグローバルリーダーを効果的に育成する道筋を調査・研究いたします。そして、市民が「自らが変革を牽引する」と奮起する機会を創出するために、グローバルリーダーの必要性を広く発信して能動者を生み出し、過去の否定からではなく明るい未来を見据えた改新を市民と共有し、前例の有無などにとらわれずに挑戦する前向きな当事者意識を醸成します。また、リーダーを目指す人材にスキルを磨く場を提供するために、正しい理念構築や実践的テクニックを習得するセミナーを開催いたします。さらに、広い視野を育むために、札幌青年会議所や日本青年会議所、並びにＪＣＩの世界に広がる運動も紹介し、同志が共鳴してシナジー効果を発揮し新たな付加価値を生み出す重要性和可能性を伝播します。そして、我々の運動をより強く発信するために、会員拡大を最も重要な使命とし、運動自体を会員拡大につなげる仕組みを構築し、強い意志で戦略的に取り組んでまいります。

我々が市民に寄り添う公明正大な理念を掲げ、世界的視野と深い見識から地域に求められる変革のために起こる潮流は、将来起こりうる脅威を解決できる課題として希望ある未来に描き換え、新たな地域文化と豊かな社会を創造できる勇猛な心漲る人材を育成します。

<職務分掌>

1. グローバルリーダー育成の調査・研究・発信
2. グローバルリーダーセミナーの実施
3. 2016年度新入会員の募集

(一社) 札幌青年会議所 2015年度

年間事業計画(案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

人材開発室 グローバルリーダー育成委員会

事業名	事業計画内容
<input type="checkbox"/> グローバルリーダー育成の調査・研究	<input type="checkbox"/> 札幌の抱える課題とその背景をまとめ、求められる新定義のグローバルリーダー像と、その効果的な育成の道筋を検証する。
<input type="checkbox"/> 四月「グローバルリーダー育成」例会の企画・運営	<input type="checkbox"/> 札幌の抱える様々な課題を発信し、「グローバルリーダーを目指す」と奮起する機会を提供すると共に、改新に挑む青年を応援することができる市民意識を醸成する例会を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> グローバルリーダーセミナーの企画・運営	<input type="checkbox"/> 正しい理念構築や実践的テクニックを習得し、参加者とメンバーが共に成長することの喜びを体感するセミナーを企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 2016年度新入会員の募集	<input type="checkbox"/> 全運動を会員拡大につなげると同時に、他委員会とも有機的に連動し、戦略的な会員拡大運動を展開する。
<input type="checkbox"/> 諸事業・諸大会への参画	<input type="checkbox"/> 概要と重要性を十分に説明し、早期のスケジューリングによって積極的な参画を促進する。

(一社)札幌青年会議所 2015年度
年間事業フレーム(案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

人材開発室 グローバルリーダー育成委員会

[illegible]

人材開発室

未来を切り拓く人材育成委員会 運動方針（案）

副理事長 神代 晃嗣

人材開発室担当常任理事 伊藤 龍平

未来を切り拓く人材育成委員会委員長 土江田 尚明

札幌は先人たちの不断の努力により、自然と共存し独自の産業や文化をもって発展し続けてきました。しかし、我々は数多くの経験で紡がれた歴史や継承されてきた先人たちの英知を十分に活用しているとは言えず、札幌の特性を最大限発揮できずにいます。豊富な資源のさらなる活用法を見出すと共に、郷土愛を育むことでまちの活力とし、幅広い知識から優れた智恵を創造し明確な未来ビジョンを描く、未来を切り拓く人材育成が必要です。

まずは、まちに新たな魅力や価値を生み出し、豊かなサッポロを創造するために、開拓の時代より現在に至る発展の歴史や、世界に誇る札幌の魅力的な特性について調査すると共に、数多くの偉人が残した業績を分析し、その結果から未来を切り拓く人材に必要な資質を定義し発信いたします。そして、高き志を抱き確かな見識をもって未来を切り拓くために、時代の潮流を的確に捉えて活躍してきた人材要件の変遷を調査分析し、次代に求められる人材の要件を導き出し、地域の活性化に積極的な貢献をしていく人材の育成プログラムを実施します。また、まちの方向性を定める政策に当事者意識をもって着目し、未来に対する責任感を醸成するために、広い見識と強い信念をもった道しるべとなるリーダーを見極めて、まちの未来を選択する機会を提供します。さらに、人間性が豊かで創造性に溢れる人材を育成するために、未来を担う子どもたちの心身を鍛錬して健康を増進すると共に、道徳と伝統を浸透させる環境を提供します。そして、我々が市民に求められる組織となるために、運動を通して組織の魅力を伝播し、会員の拡大へつなげてまいります。

歴史と真摯に向き合い、受け継がれしものを磨き、理想を求めるひとがイノベーションを起こすことでまちを成長させ、未来が切り拓かれます。感性と知性を備えたまちを愛する人々が能動的に行動し新たな時代に向け挑戦し続ける、勇猛な心漲る人材を育成します。

<職務分掌>

1. 未来を切り拓く人材育成の調査・研究・発信
2. 公開討論会の開催
3. 青少年育成事業の開催
4. 2016年度新入会員の募集

(一社) 札幌青年会議所 2015年度

年間事業計画 (案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

人材開発室 未来を切り拓く人材育成委員会

事業名	事業計画内容
<input type="checkbox"/> 未来を切り拓く人材育成の調査・研究	<input type="checkbox"/> 未来を切り拓く人材について調査し、育成方法を研究する。
<input type="checkbox"/> 公開討論会の企画・運営	<input type="checkbox"/> 統一地方選挙の立候補者が考える政策を確認する公開討論会を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> わんぱく相撲札幌場所の企画・運営	<input type="checkbox"/> 歴史と伝統のある相撲を通して、子供たちの心身を鍛練するわんぱく相撲札幌場所を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 八月「未来を切り拓く人材育成」例会の企画・運営	<input type="checkbox"/> 地域の活性化に積極的な貢献をしていく人材の育成プログラムを実施すると共に、自分たちが住むまちを愛する心を育み、未来を見据え能動的に行動する、未来を切り拓く人材を育成する例会を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 2016年度新入会員の募集	<input type="checkbox"/> 魅力的な運動を展開し伝播することで、市民に必要とされる組織となり入会希望者の増加につなげる。
<input type="checkbox"/> 諸事業・諸大会への参画	<input type="checkbox"/> 成長の機会である諸事業・諸大会に積極的に参画し、出向しているメンバーを支援する。

(一社)札幌青年会議所 2015年度
年間事業フレーム(案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

人材開発室 未来を切り拓く人材育成委員会

[illegible]

未来創造室

サッポロの未来創造委員会 運動方針（案）

副理事長 森田 宣広

未来創造室担当常任理事 小野木 完司

サッポロの未来創造委員会委員長 勝木 征史

近年、わがまち札幌の社会構造は大きく変化してきており、既に超高齢社会へと変貌を遂げております。また、超高齢社会のさらなる進行にともない、労働力・地域力の低下や財政の悪化など様々な社会問題に直面することが予想されます。これらの解決が不可欠であるからこそ、札幌青年会議所がまちの先頭に立ち、札幌の行末を照らす灯火となると共に、このまちの道しるべとなり、未来への扉を開く新たな価値を創出する必要があります。

まずは、誰もが住みたくなるまちサッポロを実現するために、少子化・高齢化の進行にともなう社会環境の変化など、まちに近い将来訪れるであろう課題についての調査研究を行うと共に、まちのあるべき姿を描き、発信してまいります。そして、労働力の減少や人口の流出、市の財政状況の悪化など、互いに深く関わる複数の問題を解決へと導くために、札幌青年会議所だけではなく、行政・各分野における専門家・他団体と連携を取り合い、市民が一丸となってまちづくり運動を行うことができる具体的なまちの未来を提案してまいります。また、札幌のさらなる発展のために、それぞれの描く理想を追い求め、まちの魅力を高める活動を展開し、様々な分野で活躍している人々を褒賞し、対内外に広く認知される機会を提供すると共に、まちづくりへの参画意識を醸成してまいります。さらに、JCの発信力を高め、広く運動を伝播するために、まちづくりに取り組む我々一人ひとりが青年経済人として組織に誇りをもち、市民にJCの魅力を伝えると共に、会員拡大は最も重要な運動であると認識し、明確な戦略を掲げ、会員の増強に取り組んでまいります。

わがまち札幌の未来を見据えた運動を広く発信することにより、札幌に住み暮らす人々が、互いの想いをひとつに合わせ、社会変化に起因する様々な困難を乗り越えると共に、このまちに住む誰もが安心して暮らしていける真の豊かさを実感できるまちを創造します。

＜職務分掌＞

1. サッポロの創造に向けた調査・研究・発信
2. 誰もが安心して暮らせるサッポロの提案
3. 市民褒賞事業の開催
4. 2016年度新入会員の募集

(一社) 札幌青年会議所 2015年度

年間事業計画(案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

未来創造室 サッポロの未来創造委員会

事業名	事業計画内容
<input type="checkbox"/> 四月「サッポロの未来創造」例会の企画・運営	<input type="checkbox"/> 札幌に今後訪れる様々な問題の解決に必要とされるまちの姿を発信し、市民の行動を喚起する例会を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> サッポロの未来を創造するためのサッポロビジョンの作成・発信	<input type="checkbox"/> 大きく変化する社会構造にともない、発生する問題を解決する具体的なまちの未来を創造するための調査・研究を行い、サッポロビジョンの作成をする。
<input type="checkbox"/> 九月特別事業授賞式の企画・運営	<input type="checkbox"/> 札幌を想い活動している人々を表彰し、多くの市民にいままで知らなかった札幌の素晴らしさや未来への可能性を感じてもらい、札幌のさらなる発展につなげる授賞式を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 2016年度新入会員の募集	<input type="checkbox"/> メンバー一人ひとりが誇りをもって魅力を伝播し、組織の拡大につなげると共に、組織内の有機的な連携により効果的な会員拡大を図る。
<input type="checkbox"/> 諸事業・諸大会への参画	<input type="checkbox"/> 様々な経験を得ることが成長の糧であることをメンバー一人ひとりが認識し、青年会議所の開催する諸事業・諸大会に参画する。

(一社)札幌青年会議所 2015年度
年間事業フレーム(案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

未来創造室 サッポロの未来創造委員会

事業名/月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
□四月「サッポロの未来創造」例会の企画・運営	企画 ●		● 企画立案	● 協議	● 審議		● 実施		● 報告						
□サッポロの未来を創造するためのサッポロビジョンの作成・発信	調査研究 ●									● 協議	● 審議		● 実施	● 報告	
□九月特別事業授賞式の企画・運営			● 企画				● 企画立案	● 協議	● 審議			● 実施		● 報告	
□2016年度新入会員の募集					● 募集開始							● 募集締切			
□諸事業・諸大会への参画					●							●			

未来創造室

次世代環境創造委員会 運動方針(案)

副理事長 森田 宣広

未来創造室担当常任理事 小野木 完司

次世代環境創造委員会委員長 石黒 真司

我々が住む札幌は、先人達の努力にて快適な生活を送ることができるまちへ発展を遂げ
てきました。しかし、東日本大震災が発端となり泊原発運転停止に起因した相次ぐ電力料
金の値上げなど、市民や企業においてもさらなる経済の逼迫が予想され、今後の地域単位
におけるエネルギーの新たな活用方法や安心して暮らすことのできるまちについて、札幌
青年会議所が積極的に運動を展開していくことで、次世代環境を創造する必要があります。

まずは、安全・安心な生活を送るために、専門的な知識を持つ他団体と連携し、技術向
上著しい自然エネルギーの有効活用や、札幌の未来像など、次世代環境創造へ向けた提言
書を作成し、行政や自治体へ提言します。そして、我々の生活を支える環境と調和した持
続可能な社会を創造するために、様々な危機が起こる環境問題や、経済の逼迫が予想され
るエネルギー問題について調査・研究を行うと共に、市民と安心して暮らすことのできるま
ちについて議論し、今後のまちのあるべき姿を発信します。また、明るく豊かな札幌を創
造するために、助成金制度をより効果的に活用することができるよう検証を行い、札幌の
まちづくりに貢献している市民団体や個人から応募を募り給付することで、魅力ある活動
を支援すると共に、札幌青年会議所の運動に対する認知と理解を広めます。さらに、札幌
青年会議所の推進力を向上させ、魅力的な組織へと発展していくために、メンバー一人ひ
とりが青年会議所運動の意義や目的について深く認識すると共に、組織の魅力を広く対外
へ向け伝播し、委員会として明確な戦略を掲げ、一丸となり会員拡大を邁進していきます。

札幌青年会議所の次世代環境創造へ向けた運動により、市民一人ひとりが安全・安心な
環境を意識すると共に、環境と調和した持続可能な社会の実現に向け行動を起し、このま
ちに住む誰もが誇りに思う、活気に満ち溢れた真の豊かさを実感できるまちを創造します。

<職務分掌>

1. 安全・安心な次世代環境の提言
2. 次世代環境創造に向けた調査・研究・発信
3. まちづくり団体への助成金給付事業の開催
4. 2016年度新入会員の募集

(一社) 札幌青年会議所 2015年度

年間事業計画 (案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

未来創造室 次世代環境創造委員会

事業名	事業計画内容
<input type="checkbox"/> 次世代環境を創造するための提言書作成	<input type="checkbox"/> 専門的な知識を持つ他団体と連携し、調査・研究を行い、市民の安全、安心な生活と、企業や地域の経済が循環する次世代環境創造へ向けた提言書を作成する。
<input type="checkbox"/> 五月「次世代環境創造」例会の企画・運営	<input type="checkbox"/> 環境と調和した持続可能な社会を創造し、今後の地域単位におけるエネルギーの活用方法やまちのあるべき姿を発信する例会を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> ブルーアース基金助成金給付団体の募集・審査委員会の企画・運営	<input type="checkbox"/> 札幌のまちづくりに貢献している団体や個人への活動を支援することを目的に給付団体を募集し、厳正な審査を行い受賞者を決定する審査委員会を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> ブルーアース基金助成金給付事業授与式の企画・運営	<input type="checkbox"/> 札幌のまちづくりに貢献している活動を支援し、札幌青年会議所の運動に対する認知と理解を広める授与式を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 2016年度新入会員の募集	<input type="checkbox"/> メンバー一人ひとりが、青年会議所の意義や目的について深く認識し、明確な戦略を掲げ、会員拡大を行う。
<input type="checkbox"/> 諸事業・諸大会への参画	<input type="checkbox"/> メンバー一人ひとりの日本青年会議所をはじめとする青年会議所運動への意識を高め、諸事業・諸大会へ参画する。

(一社) 札幌青年会議所 2015年度
年間事業フレーム (案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

未来創造室 次世代環境創造委員会

[illegible]

未来創造室

共助社会確立委員会 運動方針（案）

副理事長 森田 宣広

未来創造室担当常任理事 小野木 完司

共助社会確立委員会委員長 中目 雄介

札幌の成長は、北海道の政令指定都市として長らく国の政策に支えられ、産業や生活基盤の整備が進み、市民は公共政策に安心感を得て、その恩恵から安定した生活を得るに至りました。しかし、国や地方の支援が衰退し、地域は活力を失い始めて、人々の生活は先行きの不透明な時代を迎えております。今こそ、市民一人ひとりが自律する心を携えて、互いに助け合う意識から生きる支えを得ることができる新たな発想を創る必要があります。

まずは、私たちが住み暮らす札幌を活性化させ、より魅力的なまちへと成長させていくために、共助と市民及び地域とのかかわりについて調査・研究を行うと共に、人と地域が互いに助け合い、もてる力を発揮できる共助社会を創造する必要性について、市民へ広く発信します。そして、札幌に住み暮らす人々が、公助による保護や支援に甘えることなく、一人ひとりが助け合い、支え合うことの効果を感じながら自律して行動することにつながるために、人と人、人と地域、地域と地域がつながり、新たな経済循環を生み出すことのできる共助の在り方を描きます。また、笑顔と活気に満ち溢れた札幌を創るために、様々な立場や分野で理想を追求し、まちの魅力を高める活動を展開してきた方々から、市民がこれからの札幌に対して、希望を感じ取ることができるフロンランナーを発掘します。さらに、JC運動の推進力を高め、札幌の発展に寄与するために、メンバー一人ひとりが、青年会議所の意義と目的を再認識することで、JAYCEEとしての魅力を高め、明確な戦略をもって会員拡大運動を展開し、一人でも多くの同志を集えるよう取り組みます。

地域を担う我々責任世代が積極的に共助社会を確立するための運動を行うことにより、市民一人ひとりが自律した行動から共助の精神を根付かせ、人と地域の活力を呼び覚まして、多くの人々に共感される価値を生み出し、真の豊かさを実感できるまちを創造します。

<職務分掌>

1. 共助社会確立に向けた調査・研究・発信
2. 市民褒賞事業の開催
3. 2016年度新入会員の募集

(一社) 札幌青年会議所 2015年度

年間事業計画 (案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

未来創造室 共助社会確立委員会

事業名	事業計画内容
<input type="checkbox"/> 共助社会を確立するための調査・研究	<input type="checkbox"/> 共助の精神と市民及び地域の関係性について調査・研究を実施します。
<input type="checkbox"/> 三月「共助社会確立」例会の企画・運営	<input type="checkbox"/> 共助の精神によって、自律心を携えて市民一人ひとりが支え合いながら、地域を輝かせる共助社会の確立へ向けた例会を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 九月特別事業褒賞要綱及び募集	<input type="checkbox"/> 様々な分野や立場で活躍する市民を広く取り上げる基準を策定し、よりエントリーしやすい環境を構築する。
<input type="checkbox"/> 九月特別事業審査委員会の企画・運営	<input type="checkbox"/> 特別事業の審査手続を明確にし、札幌の発展に寄与するひとを厳正に選定する。
<input type="checkbox"/> 2016年度新入会員の募集	<input type="checkbox"/> メンバー一人ひとりが、JC運動の推進力を高める意識をもち、明確な戦略を掲げて、会員拡大を図る。
<input type="checkbox"/> 諸事業・諸大会への参画	<input type="checkbox"/> 各種事業及び大会に参加し、様々な見識を深め、メンバー一人ひとりが青年経済人として成長する機会を得る。

(一社) 札幌青年会議所 2015年度

年間事業フレーム (案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

未来創造室 共助社会確立委員会

事業名／月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
調査研究	●														
□共助社会を確立するための調査・研究	●													● 報告	
企画	●	●	●	●		実施		●							
□三月「共助社会確立」例会の企画・運営	●	企画立案	協議	審議				報告							
□九月特別事業褒賞要綱及び募集		企画		●	●	募集開始		募集締切							
		●		協議	審議	●		●			●	報告			
□九月特別事業審査委員会の企画・運営			企画	●		●	●			実施	●			●	報告
			●			協議	審議								
□2016年度新入会員の募集					募集開始	●									
					●										
□諸事業・諸大会への参画												●			

J Cの魅力発信室

J C運動発信委員会 運動方針（案）

副理事長 油矢 紗也香

J Cの魅力発信室担当常任理事 三品 幸司

J C運動発信委員会委員長 山下 久憲

1 情報が溢れている昨今において、意図した情報を受け手のもとへ正確に届けることが難
2 しい時代を迎えております。札幌青年会議所の運動は、市民に寄り添う感性と感覚をもち、
3 より効果的に展開していかなければいけません。我々自身がJ C運動の意義を理解し、市
4 民から関心を得られる工夫と、時代の変化に沿った広報手段を考察すると共に、運動の価
5 値を広く伝え、その効果を最大限発揮できる情報発信の強化に取り組む必要があります。

6 まずは、メンバーの資質を高めるために、日本J Cや北海道地区協議会諸大会の情報や
7 出向先で仲間が汗を掻く様子など、関心を惹く情報を伝え事業への参画を促します。そし
8 て、会員同士の情報伝達の効率化を図るために、誰もが活用し易い情報共有ツールを調査
9 し、メンバー同士の活動が共有できる情報連絡体制を構築します。また、我々の運動を市
10 民に伝えるために、過去の広報手段を検証すると共に情報媒体を研究し効果的な発信方法
11 を確立します。さらに、市民に事業への参画を促すために、情報を受け取る側の視点に沿
12 った広報を考察すると共に、閲覧者の興味を惹く情報を発信します。そして、国内外の地
13 域の発展に寄与する人材がさらなる飛躍を遂げるために、まちに潜在する傑出した若者を
14 発掘し広く全国へ発信します。また、我々の運動をメンバーが認識し国内外へ広めるため
15 に、昨年度及び本年度の事業を検証し発信します。さらに、卒業予定者の軌跡と功績を称
16 え感謝を伝えるために、志高く邁進してきた卒業予定者を祝福します。そして、組織を力
17 強く発展させるために、効果的な広報によって市民から共感を得て会員拡大につなげます。

18 常に受け手側の目線に立ち、様々な方法で情報の発信力を高めた札幌青年会議所は、魅
19 力溢れる運動を力強く効果的に地域社会に伝播することが可能になり、多くの市民から頼
20 られる存在として認知され、地域からの付託と信頼に応えうる愛される組織を確立します。

21 <職務分掌>

- 22 1. 日本J C、北海道地区協議会諸大会・事業への支援
- 23 2. メンバー間の情報連絡体制の構築・運用
- 24 3. 情報媒体における効果の調査・検証
- 25 4. 広報活動の企画・運用
- 26 5. 人間力大賞事業・褒賞への申請
- 27 6. 卒業予定者を送る事業の開催

(一社) 札幌青年会議所 2015年度

年間事業計画(案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

J Cの魅力発信室 J C運動発信委員会

事業名	事業計画内容
<input type="checkbox"/> ホームページ及び F a c e b o o k の企画・運営	<input type="checkbox"/> 札幌青年会議所の運動や最新情報を F a c e b o o k を交え、迅速且つ明確に対内・対外に発信するホームページの企画・運営をします。
<input type="checkbox"/> メールマガジンの企画・運営	<input type="checkbox"/> メンバーに、事業及びメンバーの情報、出向者の活躍の様子を紹介し、定期的にメールマガジンを配信します。
<input type="checkbox"/> 各事業の広報活動の検証及び報告	<input type="checkbox"/> 情報媒体における効果の調査研究を行い、各媒体と連携を図り、より効果的に札幌青年会議所の運動を市民へ発信します。
<input type="checkbox"/> 人間力大賞・褒賞事業への申請	<input type="checkbox"/> まちの発展に寄与した傑出した若者を発掘し、功績を称え全国に発信すると共に、過去の事業を検証し、各アワードに申請します。
<input type="checkbox"/> 九月特別事業における広報の企画・運営	<input type="checkbox"/> 市民に九月特別事業の開催を認識していただけるよう各媒体を用いた発信をします。
<input type="checkbox"/> 十二月「卒業予定者を送る夕べ」の企画・運営	<input type="checkbox"/> 志高く邁進してきた卒業予定者を祝福する例会を企画・運営します。
<input type="checkbox"/> 2016年度新入会員の募集	<input type="checkbox"/> 札幌青年会議所の運動の魅力を広域に渡り地域に発信し、多くの青年経済人から関心をもってもらい、会員拡大につなげます。
<input type="checkbox"/> 諸事業・諸大会への参画	<input type="checkbox"/> 当委員会が諸事業・諸大会に、率先して行動し、全メンバーに有益な情報を伝え、多くのメンバーの参画を促します。

(一社)札幌青年会議所 2015年度
年間事業フレーム(案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

J C の魅力発信室 J C 運動発信委員会

事業名/月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
□ホームページ及びFace bookの企画・運営	企画 ●	● 協議	● 審議	● 運営開始								● 報告	● 引継		● 報告	
□メールマガジンの企画・運営	企画 ●	● 協議	● 審議	● 運営開始								● 報告	● 引継		● 報告	
□各事業の広報活動の検証及び報告	調査研究 ●		● 協議	● 審議	● 運営開始							● 報告	● 引継		● 報告	
□人間力大賞・褒賞事業への申請		企画 ●		● 報告			● 申請	● 申請			● 申請	● 申請		● 報告		
□九月特別事業における広報の企画・運営					企画 ●			● 協議	● 審議	● 実施	● 実施	● 実施		● 報告		
□十二月「卒業予定者を送るタペ」の企画・運営										企画 ●		● 協議	● 審議		● 実施	● 報告
□2016年度新入会員の募集					募集開始 ●							● 募集締切				

[illegible]

J Cの魅力発信室

渉外委員会 運動方針（案）

副理事長	油矢 紗也香
J Cの魅力発信室担当常任理事	三品 幸司
渉外委員会委員長	三浦 正勝

札幌青年会議所には、近年の会員増加に伴い仲間がどのような活動をしているのか理解していないメンバーや、J Cには自身を成長させる有益な機会が多数あることを知らずに活動をしている現状があります。一人ひとりが運動への意欲と率先して仲間を応援する機運を高めると共に、メンバー間の活動の共有を図る連絡体制を確立させ、効果的に運動を展開できる環境を整備し、L O Mへの帰属意識を高め一体感を向上させる必要があります。

まずは、メンバーの資質を高める機会を創出するために、日本青年会議所及び北海道地区協議会と綿密に連絡し調整した上で、有益な情報をメンバー一人ひとりに正確に提供し、各種事業や諸大会への参画を促してまいります。そして、組織の結束力を高めていくために、出向先で果敢に挑戦する仲間を激励・支援する場を提供しメンバー同士が情報の共有を図ることで、より出向することの意義や本質を理解していただくと共に、互いの成長につなげてまいります。また、札幌青年会議所の創立を祝い今後の運動に対する機運を高めるために、創立の精神や永きに亘る歴史を再度認識し、シニアクラブ会員と現役メンバーが集い、交流を深める機会を創出してまいります。さらに、民間外交を基軸とした恒久的な世界平和に寄与するために、姉妹J Cと札幌青年会議所が互いの歴史や文化の違いを受け入れ、相互理解と友情を深め合える事業を開催してまいります。そして、札幌青年会議所の組織の推進力を向上させるために、J C運動の理念や魅力について次代を担う多くの青年に熱く語り、広く伝えることで、より一層の会員拡大運動に取り組んでまいります。

札幌青年会議所の運動の推進力を下支えし、対内外の有機的な連携をもってメンバー一人ひとりの能力を最大限引き出すことに貢献します。メンバー同士が互いに信頼し合い強い絆で結ばれることでL O Mの活性化へとつながり、誰からも愛される組織を確立します。

<職務分掌>

1. 日本J C、北海道地区協議会諸大会・事業への支援及び連絡調整
2. 出向者支援及び会員交流の実践
3. 創立記念事業の開催
4. 姉妹J C交流事業の企画・運営
5. 2016年度新入会員の募集

(一社) 札幌青年会議所 2015年度

年間事業計画 (案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

J Cの魅力発信室 渉外委員会

事業名	事業計画内容
<input type="checkbox"/> 各種大会におけるLOMナイトの企画・運営	<input type="checkbox"/> 多くのメンバーが集うことの大切さやメンバー同士の熱い想いを共有すると共に、出向者を激励し、LOMの結束力を高めるLOMナイトを企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 六月「創立記念」例会の企画・運営	<input type="checkbox"/> シニアクラブ会員と現役メンバーが創立を祝い、より交流が深まる例会を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 姉妹JC交流事業の企画・運営	<input type="checkbox"/> 姉妹JCとの歴史を再確認し、先輩諸氏が築き上げてきた友情がさらに深まる事業を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 2016年度新入会員の募集	<input type="checkbox"/> メンバー一人ひとりが青年会議所の理念と運動の素晴らしさを多くの人に伝え、会員拡大を図る。
<input type="checkbox"/> 諸事業・諸大会への参画	<input type="checkbox"/> 諸事業や諸大会に、当委員会が先頭に立ち積極的に参画し、一人でも多くのメンバーに参加を促す。

(一社)札幌青年会議所 2015年度
年間事業フレーム(案)

副理事長確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

J Cの魅力発信室 渉外委員会

[illegible]

総務室

財政・規則審査会議 運動方針（案）

専務理事 小田 祐司

総務室担当常任理事 阿部 英介

財政・規則審査会議議長 鏡 庄吾

札幌青年会議所が創始の志を継承し日々高い理念を掲げて運動に邁進しても、市民の立場に立ち、市民に受け入れられる感性と感覚がなければ、地域社会にも受け入れられず運動を広げることはできません。運動の原動力であるメンバーの資質の向上をはじめ、地域社会からの負託と信頼に応えることができる運動を徹底的に追及し、財政の最適化と共に、法令遵守の徹底を図ることができる組織として、ガバナンスを強化する必要があります。

まずは、LOMの根幹である定款並びに諸規則・諸規程と運動との整合性を一致させるために、本会議の新設による体制を調査・研究し、改善を図り管理をいたします。そして、事業担当者が財政・規則審査の理解を深め円滑な運営を図るために、審査の内容や手順を記載した財政・規則審査マニュアルを作成いたします。また、財政の最適化を追求するために、収入が適正に支出されアカウンタビリティを実践することと併せて、事業担当者との徹底した事前協議を重ね、限られた財源を最大限に活用し、費用対効果を検証した効果的且つ効率的な予算及び決算を審査いたします。さらに、法令に則し社会からの信頼性を高めるために、法令遵守をメンバーに周知徹底し、審査をいたします。そして、メンバーに本会議の審査や運営をより深く理解していただくために、財政並びに法令の知識を深め、資質の向上につながる公開会議を行うことで、LOMの規範意識を高めます。また、LOMの推進力を高めるために、青年会議所の理念と運動を顧み伝播することで、市民や地域社会からの理解をより深め、魅力溢れる人財を発掘し会員拡大運動を実践いたします。

厳正な財政・規則審査会議を通してガバナンスを強化する運動により、財政の最適化と共に法令遵守の意識がさらに高まり、メンバーの資質向上によってLOMの機運として昇華され、負託と信頼により一層応える透明性と信頼性を高める組織環境を構築いたします。

<職務分掌>

1. 定款並びに諸規則・諸規程の調査・研究及び管理
2. 議案審査マニュアル作成
3. 諸事業の予算・決算及びコンプライアンスに基づく議案の審査
4. LOMの規範意識を高める公開会議の開催
5. 2016年度新入会員の募集

(一社) 札幌青年会議所 2015年度

年間事業計画 (案)

専務理事確認日 2014年11月14日

常任理事確認日 2014年11月14日

総務室 財政・規則審査会議

事業名	事業計画内容
<input type="checkbox"/> 定款並びに諸規則・諸規程の調査・研究及び管理	<input type="checkbox"/> 財政・規則審査会議の新設による定款及び諸規則・諸規程の調査・研究を行い、改善を図り管理を行う。
<input type="checkbox"/> 財政・規則審査マニュアルの作成	<input type="checkbox"/> 財政・規則審査マニュアルを作成する。
<input type="checkbox"/> 財政規則審査会議の開催	<input type="checkbox"/> 費用対効果を検証した効果的且つ効率的な予算及び決算、並びに法令に則したコンプライアンスの審査を実施する。
<input type="checkbox"/> 財政・規則審査会議公開会議の開催	<input type="checkbox"/> 財政・規則審査会議の審査や運営への理解を深める公開会議を開催する。
<input type="checkbox"/> 2016年度新入会員の募集	<input type="checkbox"/> 札幌青年会議所の理念を広め、メンバーと共に会員拡大運動を実施する。
<input type="checkbox"/> 諸事業・諸大会への参画	<input type="checkbox"/> メンバー一人ひとりに日本青年会議所をはじめとする諸事業・諸大会への参画の意識を高め、また、札幌青年会議所を代表して出向をされているメンバーを支援する。

(一社)札幌青年会議所 2015年度
年間事業フレーム(案)

専務理事確認日 2014年11月17日

常任理事確認日 2014年11月17日

総務室 財政・規則審査会議

[illegible]

総務室

総務委員会 運動方針（案）

専務理事 小田 祐司
総務室担当常任理事 阿部 英介
総務委員会委員長 鈴木 隆司

札幌青年会議所は、これまで厳格な組織体制のもと様々な運動を地域社会へと発信してきました。しかし、近年の会員数の増加はメンバーそれぞれの意識を共有化させ、組織として方向性を一つにして運動を行っていくことを難しくさせている傾向があります。我々は、組織の根幹として統制のとれた組織運営を行い、より効果的な運動を展開することができる組織環境を整備し、地域社会に受け入れられる基盤の構築が必須であると考えます。

まずは、札幌青年会議所の求心力を高めるために、メンバーと関係諸団体が一同に集い2015年度の運動と方向性を広く発信する新年交礼会を設営し、意識の共有化を図り、ゴルフによる会員交流事業を通して、シニアクラブ会員との親睦を深め、より一層の絆を深めます。そして、メンバー全員によって組織の方向性を決定するために、札幌青年会議所の最高意思決定機関である通常総会及び臨時総会を開催します。また、メンバー同士が真摯に議論を交わす環境を構築するために、諸会議を円滑に運営し、組織力のさらなる向上を図ります。さらに、メンバーの活動意欲のより一層の向上のために、その活躍が目覚ましく札幌青年会議所の運動に深く寄与した会員に対し褒賞で称える事業を行います。そして、2015年度の運動の結果とその成果について対内外からの理解を得るために、2015年度の札幌青年会議所の運動を総括する事業報告書を作成し、メンバーや広く市民に向けて発信を行います。また、LOM全体としての推進力と発信力を高めていくために、メンバー一人ひとりの魅力と行動力を最大限に生かし会員拡大運動を行ってまいります。

我々は強固な組織基盤とガバナンスをもつ組織体制となり、効果的かつ円滑な組織運営のもと、メンバーが一丸となって札幌青年会議所の運動を行っていくことにより、地域社会からの強い信頼を得ることができる透明性と信頼性を高める組織環境を構築いたします。

<職務分掌>

1. 諸会議の運営
2. 2015年度の運動と方向性を広く発信する事業の開催
3. 通常総会及び臨時総会の開催
4. ゴルフを通じた会員交流事業の開催
5. 会員褒賞事業の開催
6. 2015年度事業報告書の作成

年間事業計画（案）

専務理事確認日 2014年11月14日

常任理事確認日 2014年11月14日

総務室 総務委員会

事業名	事業計画内容
<input type="checkbox"/> 諸会議の運営	<input type="checkbox"/> 各会議・委員会と連携を図り、的確な情報の伝達を行うとともに、活発な議論が展開されるよう諸会議を円滑に運営する。
<input type="checkbox"/> 一月「新年交礼会」の企画・運営	<input type="checkbox"/> 行政、政界、財界をはじめ関係諸団体、メンバー企業の代表者、各地青年会議所、シニアクラブ会員をお招きし、本年度の運動と方向性を広く発信する新年交礼会を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 一月「通常総会」、八月・十一月「臨時総会」の運営	<input type="checkbox"/> 一般社団法人として最高議決機関である総会のもつ意義と、各会員の権利・義務を認識いただいた上で、総会を円滑かつ丁寧に運営する。
<input type="checkbox"/> 五月「理事長杯ゴルフ大会」の企画・運営	<input type="checkbox"/> ゴルフを通じてシニアクラブ会員との親睦を深め、より一層の絆を深める大会を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 十一月「アワードバンケット」例会の企画・運営	<input type="checkbox"/> 2015度の運動をとおして活躍したメンバー及び各会議・委員会に対して、褒賞を受けていただくことで、本年度を振り返りながら、メンバー間で感動を共有し、絆を深める例会を企画・運営する。
<input type="checkbox"/> 2015年度事業報告書の作成	<input type="checkbox"/> 2015度を実施した全ての事業の成果と課題を取り纏め、次年度以降の運動に有益な報告書を作成する。
<input type="checkbox"/> 2016年度新入会員の募集	<input type="checkbox"/> 札幌青年会議所の理念を広め、メンバーと共に会員拡大運動を実施する。
<input type="checkbox"/> 諸事業・諸大会への参画	<input type="checkbox"/> メンバー一人ひとりに日本青年会議所をはじめとする諸事業・諸大会への参画の意識を高め、また、札幌青年会議所を代表して出向をされているメンバーを支援する。

年間事業フレーム（案）

常任理事確認日 2014年11月14日

[illegible]